

# 東京ふれあいロード・プログラム

みんなで育てる 東京の道

## 参加団体訪問-29 特定非営利活動法人 西ヶ原ローズページェント (北区)

環境に対する意識は年々高まり、道路空間にもうおいと安らぎが求められています。私も公社では、地域住民の皆様とのボランティアによる快適な道路環境づくりを目指す東京都「東京ふれあいロード・プログラム」に協力しています。

このプログラムは、道路の清掃や植栽の手入れなどの道路美化活動を、地域住民の力や地元自治体、企業団体と東京都が協力しあって進めていくプログラムです。平成24年7月1日現在、この「東京ふれあいロード・プログラム」に参加してくださっている団体は119団体です。公社ではこのプログラムに参加する団体に対し、清掃グッズやジャンパー等を支援、活動費用の助成をしています。

このコーナーでは「東京ふれあいロード・プログラム」の参加団体の活動を紹介しています。今号は、北区で活動されている「特定非営利活動法人 西ヶ原ローズページェント」を訪ねました。



低い柵が設置されていた頃の花壇  
レンガで囲まれていた頃の花壇は段差のために置く人もいた



空き缶やゴミなどの不法投棄も減り、違法駐輪も少なくなりました。

「街をきれいにしたい」という思いが、活動の原動力です。



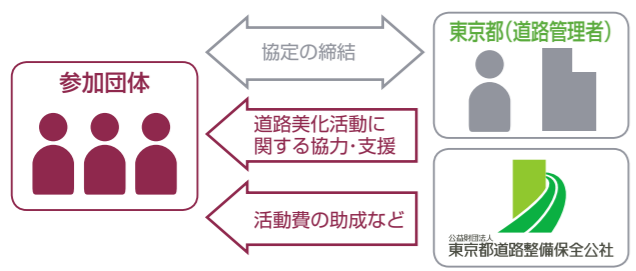
西ヶ原ローズページェントの皆さん。団体名は旧古河庭園のバラの花にちなんでつけられました。

「街を訪れる人たちに和んでもらう。」「ありがとう！」と声をかけていただくことが、私たちの活動の原動力！それを楽しみにして頑張っています。

## 「東京ふれあいロード・プログラム」に参加してみませんか？

■「東京ふれあいロード・プログラム」とは  
地域の住民や企業の皆様と東京都が協力して、道路の清掃や植栽の手入れなどの美化活動を行うことにより、道路利用のモラル向上と潤いのある道路空間の創出を目的とする制度です。

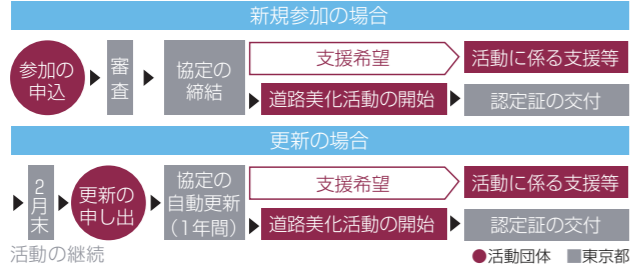
■公社の役割  
公社は、「東京ふれあいロード・プログラム」に協力し、参加団体の皆様に活動費の助成などを行い、道路美化活動をサポートしています。



## ■「東京ふれあいロード・プログラム」の概要

対象となる活動	対象となる活動は、都道で行う次の(1)、(2)に該当する活動です。 1 清掃活動 清掃活動とは、紙くず・空き缶・吸殻・落ち葉などを拾う活動です。 2 緑化活動 緑化活動とは、植栽の手入れ・花苗の植替え・種まき等を行う活動です。
対象となる団体	東京都内の自治会、町内会、商店会、学校、企業、NPO法人、ボランティア団体等
活動場所	都道の歩道部分(供用を開始した道路)
募集期間	随時募集しています。
活動期間	年間を通じて活動することとし、特に期間は定めていません。
活動に係る支援等	原則として、無償で活動していただきますが、活動の補助として、活動用具等の費用の一部支援を受けることができます。 支援の内容 活動区域内へのサイン(表示板)の設置 ※審査の結果、有償団体として認定した団体に限り。
認定方法	団体等から、活動を希望する区間(都道)を提示された後、活動の場所等が適切かどうか、東京都が確認の上で認定します。

## ■「東京ふれあいロード・プログラム」認定までの流れ



●平成24年7月1日現在、119団体が活動しています。情報を公開している団体の一覧は、<http://www.tmpc.or.jp/index.php/about-michidukurio/list> から確認できます。  
●公社では、東京ふれあいロード・プログラム参加団体を対象に、「清掃用具やジャンパーの物品支援」を行っています。物品支援について、詳しくは <http://www.tmpc.or.jp/index.php/about-michidukurio/pcej> をご覧ください。

■「東京ふれあいロード・プログラム」についてのお問い合わせ  
東京都建設局 道路管理部 路政課 管理係  
【電話:03-5320-5281(直通)】

■登場団体募集!  
TR東京都道路整備保全公社では、ティール・マガの東京ふれあいロード・プログラムに登場していただく団体を募集しています。このページは、皆さんの日頃の活動とその思いを紹介していくページです。自薦、他薦を問いません。ご応募お待ちしております。

「街をきれいにしたい」という思いが、活動の原動力です。

警察署や消防署などに加え、地元の企業にも水やりの協力をお願いしています。

お花をご自分でも植えたいという方には、苗を差し上げています。お掃除もしていただけるようになります。

少しでも花壇が飛べたとしても、花が抜かれたりボイ捨てられたりゴミが増えてしまいます。常にキレイにしていることが大切なんです。

本郷通りを中心にしたイラストマップを作成しています。ボランティアとして街歩きガイドもしています。

旧古河庭園で春と秋に開催しているバラフェスティバルにもボランティアとして参加して、植え方の指導とバラを販売しています。その利益でさらに植栽活動をしています。

花を見れば誰でもにっこりします。活動のきっかけは街を訪れる人に笑顔になってもらいたいです。

特定非営利活動法人 西ヶ原ローズページェント 理事長 日景省吾さん

西ヶ原ローズページェントの活動は、一人ひとりが風通しをよくして、お互いを気遣い合えるような仲間づくりをしよう、ということから始まりました。私たちが活動している本郷通り界隈は、警察署や病院、消防署などの公共施設が多く集まる殺風景な街という印象でしたが、私たちが植栽活動をするようになり、温かみのある街にだいたいおなってきたのではないかと感じています。一年一年、地道に活動してきた成果が少しずつですが、現れ始めています。東京ふれあいロード・プログラムに認定されたことにより、私たちの活動がわかるアドブサインを設置していただいたおかげで、これまで以上に私たちの活動をアピールできるようになりました。とにかく地元の意識がひとつになって、地道な活動をしていくことが大切だと思っています。教育基本法の中に、「子どもを育てる環境をつくらなければならない」ということがあります。本郷通りは、子どもたちの通学路になっていますので、私たちが植えた草花に触れたり、見ることで、机上ではなく、実地で学んでもらえる場として役だっているのではないかと感じていますし、そうしていきたいと思っています。

特定非営利活動法人 西ヶ原ローズページェント 塚田栄一さん

西ヶ原ローズページェントは活動を始めて今年で11年目になります。東京ふれあいロードプログラムの認定は2009年に受けました。①街をきれいにする植栽活動②新しい街づくり③老人福祉④イベントの開催、という4つの活動を中心にしています。特に、街をきれいにする植栽活動に力を入れており、活動全体の約8割を占めています。活動エリアは、北区と本郷通りの平塚神社から一里塚までの両側の歩道、約1.2キロ。ここは旧古河庭園を訪れる人たちの散策コースにもなっているのですが、私たちの街を訪れる方々に少しでも和んでもらいたいという思いから、設置されている花壇に花を植え、清掃と同時にボイ捨てなどのゴミ拾いから始めていきました。違法駐輪も多い地域で「どうしたらそれをなくせるのか?」、ということも花植え活動につながりました。スタート当初は、花壇に背の低い柵をしたり、レンガで囲うようにしたのですが、置く方が多かったり、心ない人に壊されてしまうことも多かったのです。いろいろ考えた末に柵の代わりにヤブランやリュウノヒゲなどの緑で、歩道との段差をなくした優しい花壇にしようということになりました。

■特定非営利活動法人 西ヶ原ローズページェントの活動スケジュール  
主な活動内容/年2回の花植え(5月、10月)  
毎月2回(第2・第4日曜日)9時~12時まで植栽と花壇の維持管理。  
(7・8・9月は毎週水やり)

通学の時と花壇の前を通ることが多いので、みんなが気がかけています。

「お花がキレイ」と声をかけてくださる方も多かったです!

先生から厳しく(?)指導していただきました!

地域の皆さんの憩いの場になって欲しいです!

先輩達とは違った花壇になったと思います!

ゴミを捨てる人は少なくなっています!

班ごとにエリアを決めてレイアウトしました!

■一般社団法人 日本生花通信販売協会 JFTD学園日本フラワーカレッジの活動スケジュール  
活動日/月曜日~金曜日(水やり・清掃)、年2回程度(6月と9月頃に全体植替え)  
03-5496-0364

今年の花壇のモチベーションは「目と心をつなげる」と「ハート」をコンセプトにしました。

植込みをした直後は花を抜かれてしまうこともあるのですが、「近所の小さなお子さんが花を摘んでいる姿を見かけた時はちょっと嬉しい」と渡邊さん。また、近所の方から「挿し木をしたいので、枝を分けて欲しい」と言われたり、授業用の教材を花壇から採っている時に近くの会社の警備員さんから「何をされているの?」と声をかけられることもあり、地域の花壇として注目され、守られていることを実感されているそうです。

植込みをした直後は花を抜かれてしまうこともあるのですが、「近所の小さなお子さんが花を摘んでいる姿を見かけた時はちょっと嬉しい」と渡邊さん。また、近所の方から「挿し木をしたいので、枝を分けて欲しい」と言われたり、授業用の教材を花壇から採っている時に近くの会社の警備員さんから「何をされているの?」と声をかけられることもあり、地域の花壇として注目され、守られていることを実感されているそうです。

花壇の植栽と周辺の清掃は、地域の環境美化を体験する貴重な時間となるそうです。「フロリス」を養成する学校ですから、とにかくみんなが大好き。そして物づくりをしたい、自分たちなら、と表現をしたいと思います。「花壇づくり」は、日頃の勉強の成果を発揮できる大切な場になっています」と話されるのは、教務フレーザーデザイン常勤講師の渡邊晋さん。

前回は、「JFTD学園日本フラワーカレッジ」をお訪ねしたのは、2009年の夏。平成3年に開校されたJFTD学園日本フラワーカレッジからは、花業界で活躍する多くのフロリスが育っています。平成17年4月から東京ふれあいロードプログラムの活動として行っている、品川区北品川4丁目にある花壇の植栽と周辺の清掃は、地域の環境美化を体験する貴重な時間となるそうです。「フロリス」を養成する学校ですから、とにかくみんなが大好き。そして物づくりをしたい、自分たちなら、と表現をしたいと思います。「花壇づくり」は、日頃の勉強の成果を発揮できる大切な場になっています」と話されるのは、教務フレーザーデザイン常勤講師の渡邊晋さん。

このコーナーでは、東京ふれあいロード・プログラムにご登場いただいた団体のその後を紹介いたします。今回は、JFTD学園日本生花通信販売協会 JFTD学園日本フラワーカレッジです。

このコーナーでは、東京ふれあいロード・プログラムにご登場いただいた団体のその後を紹介いたします。今回は、JFTD学園日本生花通信販売協会 JFTD学園日本フラワーカレッジです。